

## 老人パワーに大きな拍手

老連花泉支部芸能まつり

市老連花泉支部(小岩誠一支部長)主催の第18回芸能まつりは2月24日、花泉総合福祉センターで催され、約600人の観客が詰め掛けました。

34団体189人がこの日のために練習を重ねた歌や踊りを披露。自慢のど、工夫を凝らした衣装、愛嬌たっぷり、笑いを誘う踊りありの、「老人パワー」があふれる39の演目で、出演者と観客が一体となって楽しみました。また、会場で寄せられた善意のチャリティー募金と市老連花泉支部から福祉向上のために寄せられた募金が、市社会福祉協議会花泉支部に贈呈されました。



金沢「尼寺サロン」の「満州娘」に拍手かっさい

## 迫力ある生演奏に大興奮

保育園でサクスライブ

「サクソフォビア」によるサクスのライブは2月20日、首慶保育園で催され、園児や保護者らが迫力ある演奏を楽しみました。「サクソフォビア」は、井上「JUJU」博之さんをリーダーとする男性4人のサクソ演奏グループで、今回は東北地方を回るツアーの期間中に首慶保育園を訪れたものです。

ライブでは、「おもちゃのチャチャチャ」や「うれしいひな祭り」など6曲が披露されました。園児らは、演奏に合わせて歌を口ずさんだり手拍子でリズムを取ったりしながら楽しいひとときを過ごしました。



「サクソフォビア」のサクスの音色が会場を包み込みました



一生懸命にきびだんごを丸める参加者

## 一緒に混ぜたりこねたり

懐かしいおやつ作り教室

保育園入園前の1歳から3歳までの子どもとその家族を対象とした懐かしいおやつ作りは2月28日、室根保健センターを会場に行われました。子どもの健やかな成長を願い、子育て支援の一環として行われた同教室には9組の親子が参加。食生活改善推進員の藤原信子さんを講師に、げんべた、きびだんご、くずねりなど懐かしいおやつ4品を調理しました。

子どもたちは、お母さんと一緒に材料を混ぜたりこねたり。いつもと違う雰囲気の中で友達と遊びながら楽しいひとときを過ごし、自分の作ったおやつを口いっぱいほお張っていました。



「ここを動かすと羽ばたくよ」と教えてもらいました

## 羽ばたく機械を作ったよ

発明クラブで工作を体験

一関市少年少女発明クラブ(佐原得司会長、会員19人)の会員6人は2月24日、きらめきサポートステーション一関でものづくり体験を行いました。

子どもたちは板にねじを取り付ける練習の後、ゴム動力で羽を動かして飛ぶ鳥型の飛行機「パタパタ羽ばたき機」を工作。クラブ指導員や家族に教えてもらいながら完成させ、目を輝かせて何度も飛ばしていました。千葉優太郎君(萩荘小5年)は「羽ばたき機は小さな部品を取り付けるのが難しかった。今度は歩くロボットを作りたい」と満足した様子で次の目標を話してくれました。



採りたてのイチゴは格別!おなかいっぱい食べました

## 地名の起源を探り伝える

和紙発生の地看板を設置

TABASHINE山おこし村(那須野勝久村長)による「和紙発生の地」PR看板の除幕式は3月2日、東山町紙生里地内の県道前沢東山線沿いで行われました。式には同村会員や地域住民約100人が出席。那須野村長と地域の子もたちらの手で除幕されると、クリの1枚板に「紙生里 和紙発生の地」と刻まれた見事な看板が現れ、出席者から大きな拍手が送られました。

東山和紙発祥の地といわれる紙生里の地名の起源を探り後世に継承しようと、市の地域おこし事業を活用して昨年11月から看板製作に取り組んだもの。同会では今後も引き続き和紙に関連する事業を行っていく予定です。



縦約0.7m、横約5mもの大きな看板完成を地域で喜び合いました

# まちのトピックス

地域で開催されたイベントや身近なできごとを紹介します

in Ichinoseki

## 真っ赤な実をほお張って

もぐもぐの里イチゴ狩り

川崎・門崎両保育園の年長児51人は2月26日、川崎町内の観光農園からイチゴ狩りに招待され、「さちのか」「とちおとめ」を満喫しました。

「全部真っ赤になったイチゴを採ってね」とハサミを手渡された園児たちは、待ってましたばかりに食べごろのイチゴを探してハウス内を大移動。「何個食べたかわかんないよ」「あっちのも食べてみよう」と甘くみずみずしいイチゴをほお張っていました。

農園の皆さんは「今年は冬期の日照時間が長かったため、粒も大きく豊作ですね」と語り、大はしゃぎの子どもたちに温かいまなごしを向けていました。



「スローライフとは緩急を自在に使いこなす暮らし方」と講演する野口さん

## 実践から学ぶ地域づくり

「花のまちづくりの集い」

一関市民憲章推進協議会主催の「2008一関市民花のまちづくりの集い」は3月17日、千厩のマリアージュで催され、市民など約180人が参加しました。

市内や気仙沼市で花を通じた地域づくりを実践している4団体が活動事例を発表。その後、NPOスローライフ・ジャパン事務局長の野口智子さんが「みんなと地域づくり・人づくり」をテーマに講演しました。野口さんは自らが展開してきたまちづくりの事例を交えながら、スローライフの意義と花を活用したまちづくりのヒントなどをこやかに語り掛け、参加者は熱心に聴講していました。